

校章について

1. 主体のだ円の交差（学校と家庭）は、小室八幡神社の神紋である違鷹羽を抽象化したもので（過去）小室の歴史(現在)エレクトロニクス時代(未来)、宇宙への拡大を表し、また、学校教育充実、進展を希求するための学校と家庭との密接な関連提携を期待したこともおよび学校の限りなき成長と次代への発展を象徴したもの。
2. 円形を主体とした小室の文字のデザインは、円満な人格形成を志向する教育の根本を表し、小室の文字を包む同心円は、旧小室の住民を中心の円、新しく入居した住民を外側の円に示し、新しい学校、町づくりにおける協力と調和を表現し、外側の円の三つに区切られた形は、三つの公団、公社の構成と、新生小室町の発展の基盤を表している。
3. 校章の橙々色 昇る朝日の輝きと隆盛を。だ円の青と白 澄みきった心、純白な心を。

（創立五周年記念誌 こむろ より抜粋）